

第11回会長杯ミニバスケットボール大会

新型コロナウイルス感染対策について

八戸市バスケットボール協会 U12部会感対策部

新型コロナ感染対策は、JBAのガイドラインに基づいて行います。感染対策に努めても、リスクを0にすることはできません。できる限りの対策を行って感染拡大を防ぎ、誹謗・中傷や不当な扱いなどを絶対に起こさない、良い大会になるようご理解ご協力をお願いします。

1 前日まで

- ・感染対策責任者を中心に、感染症対策と健康管理を行う。
- ・2週間前からJBAの「健康チェックシート」を記入する。また、保護者欄も記入する。
(試合に勝ったチームは、試合当日までの体温等を新たに記入する。)
- ・体調不良者(37.5℃以上の発熱、咳、息苦しさ、倦怠感)は、練習に参加できない。
- ・試合後に、ベンチ・応援席・控え場所等の消毒ができるように消毒の道具を準備する。

2 当日について

(1) 受付

- ・各チーム試合開始1時間前に合わせて来場する。
- ・各チームの感染対策責任者は、選手・スタッフの「健康チェックシート」の記入漏れがないか確認し、まとめて提出する。 ※遅れて入場する場合は、入場時にシートの提出
- ・スタッフ人数は、ベンチ選手数と同数までとする。
- ・外出時にスタンプ押印(チケット配布)、再入場時にスタンプを確認してもらう。

(2) 試合中

- ・体調不良者(37.5℃以上の発熱、咳、息苦しさ、倦怠感)は、直ちに医療機関を受診する。
- ・相手チームや審判と握手をしない。
- ・試合前の円陣は行うことができる。
- ・ハイタッチ、抱擁などをしない。
- ・ボトルやタオルなどを共有しない。
- ・出場選手以外はベンチでもマスクを着用し、会話を控え大きな声を出さずに拍手で応援をする。
- ・試合間やハーフタイムに換気を行う。
- ・審判員は、ホイッスルカバーをできるかぎりつける。(レフェリーマスクもあれば着用する)
- ・審判員は、Q間やタイムアウトの際に手指・ボールの消毒を行う。
- ・チームスタッフは、指定の応援場所で大きな声を出さず、拍手などで応援をする。

(3) 試合後

- ・試合後の相手ベンチへの挨拶は、キャプテンのみとする。
- ・試合後に、ベンチと応援席を各チームで消毒する。
- ・控室の座席等を各チームで消毒する。
- ・勝利チームは、「健康チェックシート」を受け取る。

3 大会実施の可否

・大会の3日前までに実施の可否について本部で協議し、変更があれば各チームへ緊急連絡をする。

※中止や延期の基準は、総会で配布した「新型コロナウイルス感染対策について」を参照

4 感染対策担当者と係内容

(1) 受付係（各チームスタッフ2名）

①健康チェックシート回収（参加チーム用・大会関係者用・審判用）

→試合終了後、勝利チームに返却

②入場スタンプを手の甲に押印（再入場チケット配布）

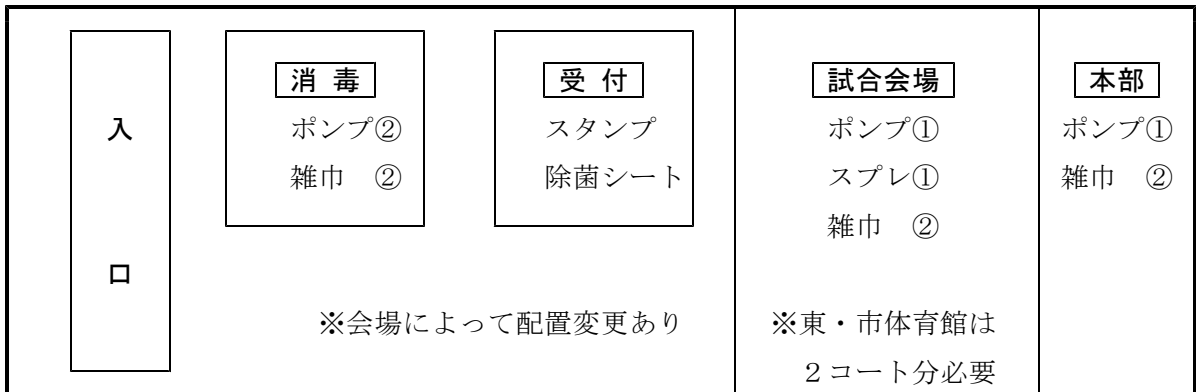
※チェックシートに不備があった場合や必要と認めた場合は、その場で検温をする。

③再入場者をブルーライトで確認

④各会場受付係の割当

	会場 時間	東体育館 6 / 25・26、7 / 2	南郷体育館 6 / 25・26	南部山体育館 6 / 25
	準備・受付 8 : 00～	A 1 白チーム	C 1 白チーム	D 1 白チーム
①	9 : 30～ 9 : 00～	A 2 白チーム	C 2 白チーム	D 2 白チーム
②	10 : 50～ 10 : 20～	B 1 勝ちチーム	C 1 勝ちチーム	D 1 勝ちチーム
③	12 : 10～ 11 : 40～	B 2 勝ちチーム	C 2 勝ちチーム	D 2 勝ちチーム
④	13 : 30～ 13 : 00～	B 3 勝ちチーム	C 3 勝ちチーム	D 3 勝ちチーム
⑤	14 : 50～ 14 : 20～	B 4 勝ちチーム	C 4 勝ちチーム	D 4 勝ちチーム
⑥	15 : 40～	B 5 勝ちチーム	C 5 勝ちチーム	/
⑤	片付け	最終試合受付係	最終試合受付係	最終試合受付係

受付図



(2) 消毒係（U12部会感染対策者）

①ゲーム終了後に、ST椅子・テーブル・器具の消毒（雑巾で拭く）

②ゲーム終了後に、10分間の換気